

# 2019 第24回ベアカップテニストーナメント

# 2019 第23回大島杯テニストーナメント

- 目的 中学・高校の男女テニス部員の親睦を深めるとともに、各個人が目的意識を持ちレベル・マナーの向上を目指す。
- 主催 ベアカップ・大島杯実行委員会
- 大会運営委員 朝妻 信一、久恒 聡、北村 昌夫、山崎 将司、浅見 登子
- 日程

会場	城西川越 (O4面)	朝霞西 (C5面)	所沢中央 (C4面)	川越東		富士見 (C4面)	入間市運動公園 (O6面)	西武台 (O3面)	入間向陽 (C4面)	川越南 (C3面)	所商 (C4面)	ふじみ野 (C4面)
				(H4面)	(O2面)							
3月26日 (火)	男SB(2/8) NO1 1~25 NO2 26~50	男SB(2/8) No1 26~50 No1 76~100	男SB(2/8) No1 51~75 No2 1~25 ※山田	男SA(3/8) 1~34 86~102		男SB(2/8) No2 51~100 ※辻谷	男SA(4/8) 35~51 69~85 103~136 ※大橋	男SA(1/8) 52~68	女DB(1/2) 1~42	女DA(1/4) 40~52	女DA(1/2) 1~39	女DB(1/2) 43~84
3月27日 (水)	男DB(1/2) 1~42	男DB(1/2) 43~84	女SB(2/8) No1 1~25 No2 26~50 ※福田	男DAすべて			女SA(6/8) 1~50 64~87 ※石井 亀岡		女SB(2/8) No1 76~100 No2 51~75	女SA(2/8) 51~63 88~100	女SB(2/8) No1 26~50 No2 76~100	女SB(2/8) No1 51~75 No2 1~25
3月28日 (金)				男残りすべて			女残りすべて ※朝妻					
3月29日 (木)												

## 3/26~28(各種目1日目)の進行の目安

男子シングルス ベスト8まで  
 女子シングルス ベスト8まで  
 男女ダブルス ベスト4まで

★結果は和光国際FAX048(460)1018とメールで連絡お願いします。(asaduma.shinichi.d5@spec.ed.jp)  
 勝ち残りの選手に結果を持たせて最終日の受付で提出するようにお願いします!

大会の予備日は3/29(金)です。(変更があれば大会HP ベアカップ・大島杯専用HP <https://seibutiku-tennis-2018.jimdo.com/> に掲載します)

○ 参加校で会場になってない先生方は、必ず引率会場でお手伝い下さい(引率会場は1箇所移動せずにその会場でレフリーをお願いします)

○ 試合開始 8:30

集合 選手は試合のできる服装(テニスウェア)で試合開始10分前までに受付に届けること。8:20までに受付が無い場合は棄権とみなします。

### ★ 試合上の注意

- ※ 試合はすべて1セットマッチとする。6-6タイブレーク(12ポイント→いつも行なっているタイブレークのことで、12ポイント先取ではありません)
- ※ ボール(ダンロップフォート又はウィルソンED又はブリジストンXT82個入り缶)を各自1缶用意し、試合コートに持ちより1缶開け、敗者が試合で使ったボール(セットボール)を、勝者が開けてないボールを持ち帰る。
- ※ ウォームアップはサービス2本のみとする。
- ※ 体力消耗・ケイレンによる中断は許されない。
- ※ 敗者審判制とする。(必ず審判ができるようにしておくこと。タイブレークも!!!)
- ※ 服装はテニスウェアとし(Tシャツは不可)、下はスカート又はショートパンツとする。(コートレフェリーがウォームアップ着用を認めることもある)
- ※ その他の規定はテニス協会競技規定に準じる。
- ※ 会場が変更になる可能性もあるので勝ち残っている選手は帰りに本部で必ず確認するとともに、HP上でも確認をお願いします。
- ※ 3日目(残り試合)の受付終了時間は男女ともシングル、ダブルスとも8:20までとします。

★ 雨天等で試合が不可能なときは、HP上で確認をお願いします。  
なお、試合開始時点での欠席の場合は棄権とみなす。また、選手の会場・本部への電話連絡は受け付けない。  
大会本部 080-5650-1699 朝妻

コートレフェリーのみ電話をおかけ下さい

終了連絡も留守電で結構ですのでお願いします。

その他

- ※ 表彰は各種目1位～4位まで行う。(レプリカカップおよび賞状)
- ※ 選手及び応援の生徒はゴミを散らかしたり、フェンスをよじ登ったり等マナーに反する行為を決してしないこと。また、会場校の先生の指示に従うこと。
- ※ 会場への行き帰りも、テニスプレーヤーとしての自覚を持った行動をとること。

